

～先進事例に学ぶ～

ICT を活用した



災害ボランティアセンターの運営について

ICT（情報通信技術）は様々な場面で活用され、災害ボランティアセンターの運営においても有効とされています。実際に ICT 化を進めながら、災害ボランティアセンターを立上げ、活用された先進事例から学び、横浜で発災した時の備えの一助とします。

定員：80名
(先着順)

<日 時>令和4年3月15日(火)

18:00～19:30 (受付 17:45 より入室可能)

前半：講義・質疑応答（60分）／後半：情報交換（30分）

<会 場>オンラインにて開催（Zoom 会議を使用予定）

<対 象>会員及び市内で災害ボランティア活動に関わる方、関心のある方

【講 師】静岡県社会福祉協議会 地域福祉課長 松浦史紀氏

令和3年7月の豪雨被害を受け、熱海市・沼津市などで災害ボランティアセンターが開設されました。静岡県社協は災害ボランティア本部・情報センターを設置し、県内社協や外部団体の協力を得て、被災地社協の支援を行いました。

<申込方法> <https://forms.office.com/r/SGkrDvwy38>

- ・上記 URL または右記二次元コードより各自お申込みください。
- ・1 団体あたり 2～3 名程度でご参加をお願いします。参加希望が多い場合、調整させていただくことがあります。



<申込締切> 3月10日(木)

主催：横浜災害ボランティアネットワーク会議
横浜市市民局・横浜市社会福祉協議会

【問合せ・申込先】

横浜災害ボランティアネットワーク会議事務局（社会福祉法人横浜市社会福祉協議会市民活動支援課）

担当：田村・別田（べった）

電話：201-8620／FAX:201-1620／Eメール：saiwol@yokohama-saigai-vol-net.jp